

しろやま



病院理念

城山病院は患者さまのために存在します

2023年8月号

医療法人春秋会 城山病院

大阪府羽曳野市はびきの2-8-1

TEL 072-958-1000

編集・発行 情報システム課

Vol. 74



SPECIAL

より患者様に寄り添った治療のために



緩和ケア特定認定看護師

松本 静香さん

2019年に認定看護師制度が改正され、緩和ケアなどの分野で特定認定看護師が誕生しています。特定認定看護師に期待されることは患者様の病態に応じた適切なケアや退院後の在宅、地域等あらゆる場のニーズへの対応やチーム医療のキーパーソンとしての活動です。今年、城山病院の赴任し、退院後訪問も積極的に行っている松本さんに話を聞きました。

どんな仕事をしていますか？

本来、緩和ケアはがん以外の疾病の患者様も対象になります。しかし、2人に1人ががんになる今日、当院でもがん患者様の治療を充実するため、現在はがん治療における緩和ケアチームの一員として、患者様の意思を尊重し、生活の質を高めるための支援を行う活動をしています。

具体的には治療や医師の説明でよくわからなかったことや、退院後の生活など様々な不安を一緒に考えたり、情報を伝えています。また、前の職場で行っていたことから、当院でも退院後訪問を始めました。退院時に「しんどい」「家に帰ってからの生活が不安」等おっしゃっていた患者様を、2週間後の外来診察までの間ご自宅に伺い、様子を聞いて対応しています。

特定認定看護師を目指した理由

10年前にがん性疼痛看護認定看護師の資格を、さらに5年前に特定行為研修の資格を取得しました。なぜ認定看護師になろうと思ったのかお話しします。当時、訪問看護に携わっていましたが、在宅では、痛みなどの辛さが改善せず、体調のすぐれない

患者様が多くおられました。医師にそのことを伝えてもなかなか改善できない。医師と看護師は患者様への思いは同じでも、知識や技術も違うため意見が割れます。

ならば自分が専門的な知識を身につけようと認定看護師になることに決めました。研修は非常に厳しかったですが、なぜ医師がその薬を処方したのかが理解でき、さらに患者様と深く向き合えるようになりました。

忘れられない患者様

がんの緩和ケアは病気の告知の段階から治療と並行して行います。即ち、患者様との付き合いも長くなり、その方の人生に触れることにもなります。

一般病棟に入院されていた末期の男性患者様は「家に帰ると家族に迷惑がかかるので、このまま緩和病棟に移りたい」とおっしゃっていましたが、「本当にそれでいいのですか？」と聞いてみたら、暫くして「やはり家に帰りたい」とおっしゃり、最後まで愛情深いご家族と過ごされました。

また、「ゴルフをしたい」と抗がん剤治療を拒否した患者様は、家族の説得に折れて治療を受け、その後、ゴルフができなくなりました。患者様自身が決めたことではありますが、ご自分の人生に納得されたのかどうか、考えることがあります。

最後に

もし、がんになった時、どのように生きたいかを家族と話をしてください。「どこまで治療するのか？」「家族みんなで頑張れるのか？」を家族と意見交換をして欲しい。

そして、相談ができるホームドクターを持ってください。ご近所の先生は、在宅での生活で大きな力になってくれると感じています。



夏場にご注意を！ ～熱中症にお気をつけください～



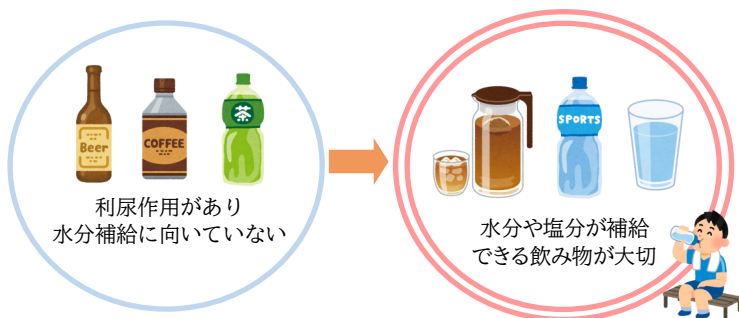
熱中症はどんなときに起こる？

夏の高温時に、体が脱水症状になると、筋肉の痙攣、だるさやめまいを感じて、屋内で過ごしていても熱中症を起こすと言われています。気温27度以上・湿度70%以上、日差しが強く、風がないなどの環境の下で起こりやすくなっています。特に気温が32度以上の場合は熱中症に要注意です。また、調理後の台所は湿度が高いため換気を十分にしてください。

熱中症予防

屋内にいてもこまめな水分補給が大切です。屋外での作業やスポーツをするときは、必ず15分に1回は水分・塩分や電解質のミネラルを含んだスポーツドリンクをお勧めします。補給する水分もあまり冷たすぎると胃に負担がかかるので15～22度位にすると胃から小腸へスムーズに吸収されます。

飲み物にも注意が必要です。お茶やコーヒーは利尿作用があり、体から水分を排出してしまうので水分補給には向いていないのです。カフェインの含まれていない麦茶などがおすすめです。



予防のポイント



城山病院 イベント案内

もの忘れ あきらめていませんか？ ー認知症と正常圧水頭症ー

日程:2023年9月8日(金) 14:30～15:30

会場:羽曳野市役所別館3F **参加無料**

講師:城山病院 脳・脊椎・神経センター
センター長 島野 裕史先生



1996年 大阪医科大学脳神経外科学教室 入局

2006年～ 城山病院 勤務

現在 脳センター長として脳神経外科治療に従事

日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会指導医、日本脳卒中脳外科学会技術指導医、日本神経内視鏡学会技術認定医、臨床研修指導医

※お問い合わせ
城山病院 地域連携室:072-958-1000

医療従事者向け

リハビリテーション科主催公開研修
生活期におけるリハビリテーション
～介護老人保健施設での取り組み～

日程:2023年8月4日(金) 17:45～18:30

会場:ZOOM開催 参加無料

ミーティングID:867 7534 9108

パスコード:588994



城山病院 認定看護師会主催公開研修
昼夜逆転と不眠・不穏について

日程:2023年8月24日(金) 17:30～18:15

会場:ZOOM開催 参加無料

ミーティングID:841 9465 4899

パスコード:483147

→詳しくは城山病院ホームページへ



数字で見る城山病院の強み

「数字で見る城山病院の強み」を更新しました。

2022年度は2021年度と比べ、外来患者数・手術件数・救急受入件数が増加しました。日々の診療に加え、ダヴィンチ手術・再生治療など最新の治療方法も取り入れました。

これからも患者様一人ひとりが安心して受診しやすい病院であることを目指してまいります。

	2021年度	2022年度
年間入院患者数	92,067人	91,883人
月平均ベッド稼働率	84.4%	84.2%
年間外来患者総数	132,406人	134,283人
年間手術件数	3,719人	3,931人
年間救急受入件数	3,902人	4,224人